

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公開番号】特開2001-120552(P2001-120552A)

【公開日】平成13年5月8日(2001.5.8)

【出願番号】特願平11-304767

【国際特許分類】

|                |              |                  |
|----------------|--------------|------------------|
| <b>A 6 1 B</b> | <b>8/14</b>  | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 0 6 F</b> | <b>3/048</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 0 6 T</b> | <b>1/00</b>  | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|         |      |         |
|---------|------|---------|
| A 6 1 B | 8/14 |         |
| G 0 6 F | 3/00 | 6 5 5 B |
| G 0 6 T | 1/00 | 2 9 0 D |

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月11日(2006.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体内に超音波を送受信する探触子と、この探触子に送信信号を供給すると共に受信した反射エコー信号を増幅する超音波送受信部と、この超音波送受信部からの反射エコー信号を画像に変換するデジタルスキャンコンバータと、断層像の表示座標面に対し線分を入力する手段と、該入力した線分を前記断層像と合成して表示する手段と、前記線分が付された前記断層像と前記線分上の時系列の超音波画像とを表示する手段とを有する超音波診断装置において、前記線分が付された断層像から所定の臓器の境界を判定する判定手段と、前記判定された境界に基づいて前記臓器の中心位置を時系列に算出する手段とを備え、前記表示手段は前記算出手段で時系列に算出した前記中心位置と前記時系列の超音波画像とを合成して表示することを特徴とする超音波診断装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、被検体内に超音波を送受信する探触子と、この探触子に送信信号を供給すると共に受信した反射エコー信号を増幅する超音波送受信部と、この超音波送受信部からの反射エコー信号を画像に変換するデジタルスキャンコンバータと、断層像の表示座標面に対し線分を入力する手段と、該入力した線分を前記断層像と合成して表示する手段と、前記線分が付された前記断層像と前記線分上の時系列の超音波画像とを表示する手段とを有する超音波診断装置において、前記線分が付された断層像から所定の臓器の境界を判定する判定手段と、前記判定された境界に基づいて前記臓器の中心位置を時系列に算出する手段とを備え、前記表示手段は前記算出手段で時系列に算出した前記中心位置と前記時系列の超音波画像とを合成して表示するものである。